

証券コード：3877

第93期
中間事業報告書

平成20年4月1日▶平成20年9月30日



中越パルプ工業株式会社

経営理念

私たち中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社に

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくります。

CONTENTS

・経営理念	1	・財務諸表(連結)	6
・株主の皆さまへ	2	・財務諸表(単体)	8
・営業概況	3	・会社概要	9
・財務ハイライト	5	・株式の概況	10

株主の皆さまへ



代表取締役社長

「ひと・もの・心」を大切に

原田正文

株主の皆さまにひとことご挨拶申し上げます。

企業価値の源泉は「ブランド=信用」

中越パルプ工業グループの代表として、当社の企業価値を高めることが私に課せられた使命であり、その企業価値の源泉は「ブランド=信用」と考えております。

当社は時代のニーズにあった紙を供給して経済・社会・文化に貢献してまいりました。その今までの歴史と信頼をベースにしなが、培ってきた確かな技術に満足することなく、これからも社会から愛されると同時に、社会に貢献すること、そして当社で働く従業員にとって働きがいのある会社をつくり上げていくことが、企業の永続的発展の糧となるとともに、当社のブランド力を高めます。

革新なくして企業の明日はない

常に激動する時代において、昨日より今日、今日より明日、常に革新なくして企業の明日はない、現状維持は後退であると再認識し、変化に対応できな

いものは生き残れないとの覚悟で、進化しつづける必要があります。そのためにも、経営陣はもちろんのこと、グループ社員全員が当事者意識を持って課題のひとつひとつに貪欲に挑戦いたします。そして進むべき針路を絞り込み、さらに柔軟性を兼ね備えた発想によって、より強い企業となるべく、戦略策定を行ってまいります。

「ひと・もの・心」を大切に

厳しい経営環境の中、現場力の強化を合言葉に全員が力を結集して当社のポテンシャルをより一層高めてまいります。「ひと」を大切に、「もの」を大切に、「心」を大切に。この経営思想を根幹とし、みなさまのより豊かな生活の創造に貢献してまいります。

今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜わりますよう、心よりお願い申し上げます。

平成20年12月

営業概況

業績概況

当第2四半期連結累計期間（当中間期）における我が国経済は、世界的な景気の減速および円高の進行による輸出産業の不振、さらには消費者心理の悪化から個人消費の低迷も顕著になりはじめ、景気の減速感が夏以降日増しに強くなる等、厳しい経済状況となりました。

当社グループは、原燃料価格高騰を吸収すべく実施した製品価格修正の定着に取り組むと同時に、グループ丸となって各種コスト削減に継続して取り組み、収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、589億8千2百万円、（前年同期比6.3%の増収）経常利益は16億6千2百万円、（同14.6%の増益）純利益は10億8百万円（同60.4%の増益）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、一株につき3円の配当を実施いたします。

【紙・パルプ及び紙製品製造事業】

◎ 一般洋紙、包装用紙、特殊紙

オリンピック特需も盛り上がり欠け、国内経済の不振に伴い紙の国内消費も夏以降日増しに減退傾向を示しました。当社におきましても、国内需要減により受注が伸び悩み、販売数量は減少しましたが、価格修正により増収となりま

した。

◎ 加工品、紙器等

紙加工品、紙容器とも需要が堅調に推移したことに加え、価格修正の実施もあり増収となりました。

【その他の事業】

◎ 運送、建設施工他

運送事業につきましては取扱数量の増加、燃料価格上昇分をコストダウンにより吸収した結果、増収増益となりましたが、建設事業につきましては取扱量の減少により、減収減益となりました。全体では前年同期に比し、ほぼ横ばいで推移しました。

今後の取り組み

紙パルプ業界におきましては、景気の減速にともない広告出稿の減少、商業印刷向けなどの需要減により印刷情報用紙を中心に紙の国内出荷は、大幅な減少を記録、在庫も塗工紙を中心に過去のピークを大幅に超える水準に急増しております。投機的な動きを見せていた原油価格が若干落ち着きを見せたものの、その他オイルコークス、木材チップ、資材、薬品は依然として高止まりで推移し、厳しい経営環境は今後も続くものと思われま

このような過酷な経営環境にあって、難局打破の方策はコスト削減しか残されておりません。今一度「コスト削減に終わりも限界もない」との覚悟を決めて、今一步従来の殻を破り、グループ丸となって一人ひとりが当事者意識を持ってコスト削減に邁進してまいります。

来年3月を目処に本社機能を富山県高岡市に移転するため、新社屋を高岡工場・能町内に建設中です。今後は生産現場と経営が一体化し、業務の効率化、意思決定のスピードアップを実現することによって、より強い企業体質を構築するため、経営資源の選択と集中を図ってまいります。

CSR（企業の社会的責任）につきましては、古紙および非木材パルプの配合率乖離問題という重大なコンプライアンス違反を猛省し、二度とこのような事態を発生させぬよう経営トップから従業員まで全社的な教育を実施しております。今後も内部通報制度の充実を図るほか、内部統制委員会、または外部機関の検証を通じて随時問題点を監視することにより、実効的に機能するコーポレート・ガバナンス体制の更なる強化を推進してまいります。

環境保全・社会貢献への取り組みも、古紙の更なる有効利用を図り、間伐材や竹といった、国内未利用資源の積極調達を推進し、今後は海外植林事業の

拡大も視野に入れる等、CO₂削減による地球温暖化防止への取り組みを継続してまいります。高岡工場・能町への木質燃料ボイラー設置工事や川内工場におけるパルプのECF化（無塩素漂白）等の環境対策工事も実施してまいります。

今後も経営理念のもと、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指してまいります。

トピックス | 本社社屋建設進行中!! (完成予想図)

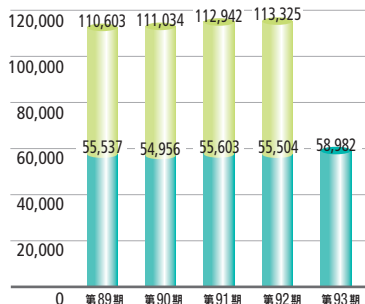


財務ハイライト

売上高

■ 通期 ■ 中間期

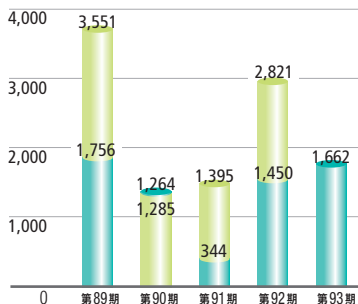
(単位：百万円)



経常利益

■ 通期 ■ 中間期

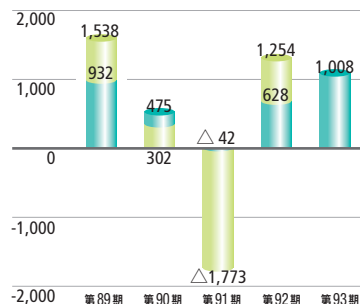
(単位：百万円)



中間(当期)純利益

■ 通期 ■ 中間期

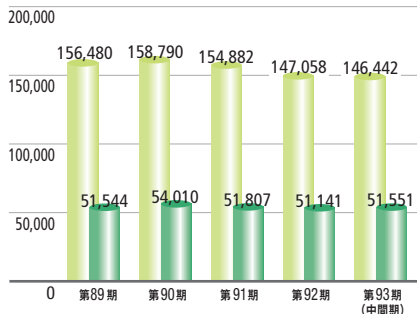
(単位：百万円)



総資産/純資産

■ 総資産
■ 純資産

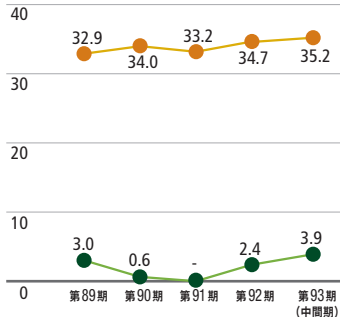
(単位：百万円)



自己資本比率/ROE

● 自己資本比率 ● ROE

(単位：%)

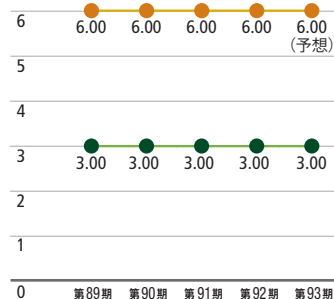


当中間期のROEの計算については、純利益を2倍にして計算しております。

配当金の推移

● 通期 ● 中間期

(単位：円)



財務諸表（連結）

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成20年9月30日	前期末（参考） 平成20年3月31日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,431	1,422
受取手形及び売掛金	25,762	26,773
有価証券	32	36
商品及び製品	8,845	7,520
原材料	5,467	3,590
仕掛品	908	733
貯蔵品	1,692	1,529
その他	2,499	3,476
貸倒引当金	△ 24	△ 23
流動資産合計	46,615	45,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,667	46,586
減価償却累計額	△ 25,307	△ 25,278
建物及び構築物（純額）	21,359	21,308
機械装置及び運搬具	236,134	234,712
減価償却累計額	△ 177,845	△ 174,266
機械装置及び運搬具（純額）	58,288	60,446
その他	13,048	11,817
減価償却累計額	△ 2,017	△ 1,958
その他（純額）	11,031	9,858
有形固定資産合計	90,679	91,613
無形固定資産		
のれん	—	31
その他	221	241
無形固定資産合計	221	273
投資その他の資産		
投資有価証券	6,226	6,829
その他	2,838	3,421
貸倒引当金	△ 139	△ 139
投資その他の資産合計	8,925	10,111
固定資産合計	99,826	101,998
資産合計	146,442	147,058

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成20年9月30日	前期末（参考） 平成20年3月31日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,506	16,884
短期借入金	47,050	45,782
1年内償還予定の社債	4,000	2,000
未払法人税等	169	187
賞与引当金	705	704
その他	6,733	7,858
流動負債合計	76,165	73,417
固定負債		
社債	2,000	4,000
長期借入金	11,328	11,924
退職給付引当金	4,168	5,975
環境対策引当金	19	19
負ののれん	256	320
その他	953	260
固定負債合計	18,725	22,500
負債合計	94,891	95,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,654	14,654
利益剰余金	19,237	18,579
自己株式	△ 36	△ 32
株主資本合計	51,116	50,460
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	437	795
繰延ヘッジ損益	△ 51	△ 160
評価・換算差額等合計	385	635
少数株主持分	49	44
純資産合計	51,551	51,141
負債純資産合計	146,442	147,058

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前中間期(参考)
	平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで	平成19年 4月 1日から 平成19年 9月30日まで
売上高	58,982	55,504
売上原価	47,028	44,261
売上総利益	11,953	11,243
販売費及び一般管理費	9,591	9,674
営業利益	2,362	1,568
営業外収益	284	389
営業外費用	984	508
経常利益	1,662	1,450
特別利益	203	56
特別損失	229	431
税金等調整前四半期(中間)純利益	1,637	1,075
法人税、住民税及び事業税	114	122
法人税等調整額	509	307
法人税等合計	623	430
少数株主利益	5	16
四半期(中間)純利益	1,008	628

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前中間期(参考)
	平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで	平成19年 4月 1日から 平成19年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,781	4,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,050	△ 3,716
財務活動によるキャッシュ・フロー	314	△ 1,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39	△ 655
現金及び現金同等物の期首残高	1,392	2,655
現金及び現金同等物の四半期(中間期)末残高	1,431	1,999

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

事業の種類別セグメント情報 当第2四半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位:百万円)

	紙・パルプ及び 紙製品製造事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
外部顧客に対する売上高	56,558	2,423	58,982	—	58,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	54	9,163	9,217	(9,217)	—
計	56,612	11,586	68,199	(9,217)	58,982
営業利益	2,124	218	2,342	20	2,362

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

財務諸表 (単体)

貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成20年9月30日	前期末 (参考) 平成20年3月31日
資産の部		
流動資産	40,335	38,523
現金及び預金	1,072	925
受取手形及び売掛金	21,563	22,192
たな卸資産	14,985	11,853
その他	2,713	3,552
固定資産	95,250	96,647
有形固定資産	85,854	86,702
建物及び構築物	19,853	19,741
機械装置及び運搬具他	57,231	59,406
土地	6,190	6,189
その他	2,578	1,366
無形固定資産	179	190
投資その他の資産	9,216	9,754
投資有価証券	6,622	6,859
その他	2,593	2,895
資産合計	135,585	135,171
負債の部		
流動負債	70,896	67,100
支払手形及び買掛金	13,154	12,433
短期借入金	45,711	44,093
1年内償還社債	4,000	2,000
未払金他	8,030	8,573
固定負債	16,383	19,870
社債	2,000	4,000
長期借入金	10,921	11,526
退職給付引当金他	3,462	4,344
負債合計	87,279	86,970
純資産の部		
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,372	14,372
利益剰余金	16,383	16,039
自己株式	△ 36	△ 32
株主資本合計	47,980	47,639
評価・換算差額等	325	561
純資産合計	48,305	48,200
負債純資産合計	135,585	135,171

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (参考) (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
売上高	51,075	46,754
売上原価	40,743	37,240
売上総利益	10,332	9,513
販売費及び一般管理費	8,393	8,444
営業利益	1,938	1,069
営業外収益	257	438
営業外費用	947	481
経常利益	1,248	1,026
特別利益	122	26
特別損失	203	369
税引前四半期(中間)純利益	1,167	683
法人税、住民税及び事業税	8	8
法人税等調整額	465	257
四半期(中間)純利益	693	417

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

会社概要

会社概要 (平成20年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社
本社所在地 東京都中央区銀座二丁目10番6号
創業 昭和22年2月
資本金 17,259百万円
グループ従業員数 1,855名
事業内容 ◎パルプから一貫して印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹入紙の製造ならびに販売を行うとともに、パルプの一部を販売し、併せて若干の仕入販売を行っております。
◎国内外において、造林事業を行っております。

主な事業所

本社 東京都中央区銀座2-10-6
大阪営業支社 大阪府大阪市西区京町堀1-1-20
中越大阪ビル
名古屋営業所 愛知県名古屋市中区錦2-15-22
りそな名古屋ビル
福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅前3-19-5
博多石川ビル
川内工場 鹿児島県薩摩川内市宮内町1-26
高岡工場・能町 富山県高岡市米島282
高岡工場・二塚 富山県高岡市二塚3288

役員

代表取締役社長	原田正文
代表取締役副社長	竹下賢二
常務取締役	成毛康夫
常務取締役	村島和夫
常任監査役(常勤)	室谷照男
監査役(社外)	今野昭昌
監査役(社外)	平戸恭一

グループ概要

紙・パルプ及び紙製品製造事業
中越パッケージ株式会社
株式会社文運堂
三善製紙株式会社

その他の事業

中越緑化株式会社
中越物産株式会社
中越ロジスティクス株式会社
鹿児島興産株式会社
中越テクノ株式会社
共友商事株式会社
共同エステート株式会社

その他関係会社

Acacia Afforestation Asia Co.,Ltd
New Zealand Plantation Forest Co.,Ltd
有限会社南薩緑化センター
九州紙管株式会社
中央紙工株式会社
石川紙工株式会社
エヌシー共同開発株式会社

株式の概況

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

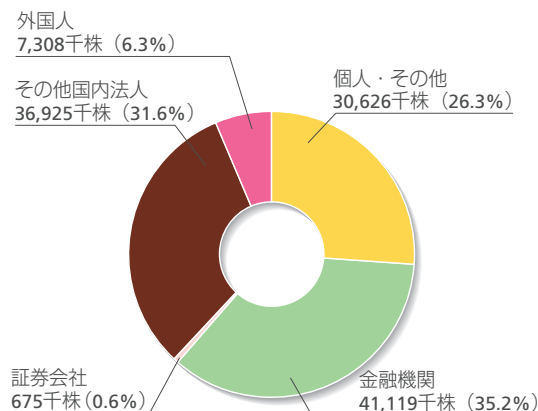
発行可能株式総数	450,000,000株
発行済株式の総数	116,654,883株
株主数	11,415名

大株主 (上位10名)

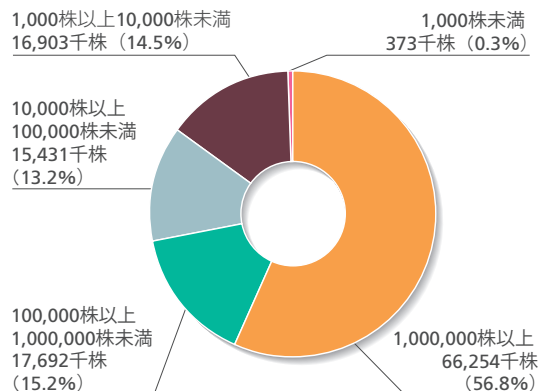
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子製紙株式会社	10,539	9.03
日本紙パルプ商事株式会社	6,065	5.19
株式会社北陸銀行	5,735	4.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,711	4.89
新生紙パルプ商事株式会社	5,038	4.31
国際紙パルプ商事株式会社	4,759	4.07
株式会社みずほコーポレート銀行	4,013	3.44
農林中央金庫	4,013	3.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,977	3.40
株式会社損害保険ジャパン	2,511	2.15

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

所有者別



持株数別



株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

株主総会

定時株主総会 毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告方法

電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人

中央三井信託銀行株式会社
東京都港区芝三丁目33番1号

[同事務取扱所]

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

[同取次窓口]

中央三井信託銀行株式会社全国各支店
日本証券代行株式会社本店および全国各支店

単元株式数

1,000株

上場証券取引所

東京・大阪（市場第1部）

お知らせ

平成21年1月5日（月曜日）から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。

株券電子化実施後の手続のお申出先については下記の通りとなります。

- ・株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先
 - ①証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
 - ②証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられていない株主様：特別口座を開設する口座管理機関
 - ・口座管理機関 中央三井信託銀行株式会社
- ご照会先等は左記と同様となります。



中越パルプ工業株式会社

〒104-8124 東京都中央区銀座二丁目10番6号 電話 03-3544-1524(代表)



用紙：高岡工場・能町製品 雷鳥コート104.7g/m²
地球環境を保護するために、大豆インキを使用しています。